

# サプライチェーンの信頼性保証技術

～IoT社会に対応したサイバー・フィジカル・セキュリティ～

## 概要

製品の流通段階でスパイチップが混入されるなど、サプライチェーンへの攻撃が発生しており、不正なモジュールやデータの混入を防ぐ仕組みが求められています。このような仕組み作りは産業界全体で取り組む必要があるため、ATRでは内閣府のプロジェクトに参画し、サプライチェーンの信頼性を保証する技術の研究開発を行っています

## 特徴

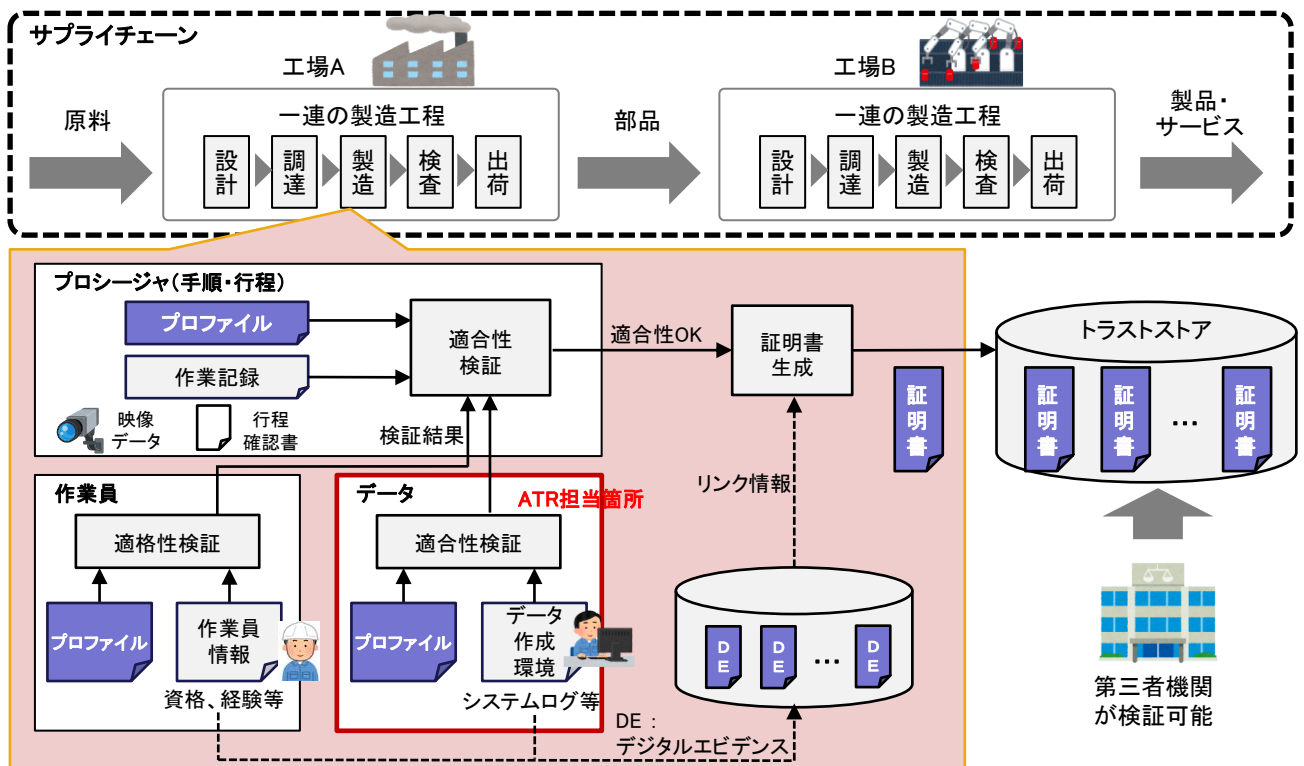
- サプライチェーンの各構成要素(ヒト、データ、プロシージャ(手順・行程)等)の信頼の基準となるルールや要件を『プロフィール』として定義 ⇒ **柔軟で粒度の細かい信頼性保証が可能**
- 各構成要素から取得した情報とプロフィールを照合することで適合性を検証し、『証明書』を生成 ⇒ **不正な処理の混入を防止**
- 適合性検証の根拠となった情報をデジタル化して保存(『デジタルエビデンス』)。証明書を異なる組織間で相互参照可能な『トラストストア』に登録 ⇒ **問題発生時に第三者機関が検証可能**

## 今後の展開

- プロファイルや証明書の効率的な構成、処理の確立。ヒト、データ、プロシージャを統合した適合性検証の実現
- プロジェクト参画企業と連携したフィールド実証(20年度:基本機能、21年度:拡張機能)

## 対コロナへの関連

- サプライチェーンの変更が急遽必要となった場合でも、素早くサプライチェーン全体の信頼再構築が可能
- 信頼性の確認作業がリモートで行えるようになり、人の接触や移動が抑えられる



連絡先: 適応コミュニケーション研究所 担当 小津 喬 E-Mail: ozu@atr.jp

本研究は、内閣府戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)第2期/ IoT社会に対応したサイバー・フィジカル・セキュリティ(管理法人NEDO)において実施中です